

# 無垢の杉ならではの 本物の美しさ。

日本の風土とともに長く愛され続けてきた杉は、無垢材だからこそその美しさがあります。主流の合板フローリングに比べて、お手入れが必要ですが、目で楽しむ木目の風合い、手や足に触れるあたたかさ、そして傷さえも愛おしく感じられる本物の味わいがあります。家族とともに歳を重ねる杉のフローリングは、かけがえのない家族の思い出を刻んでくれます。

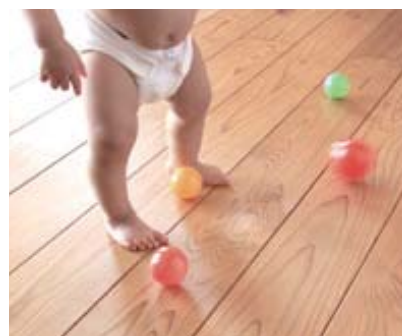


## 杉無垢フローリング柿渋仕上げの特徴

### 1 夏はさらっと、冬はあったか。

杉の上を素足で歩くと、湿度の高い夏場はサラッと、寒い冬場のひんやり感がありません。それは、杉が吸湿・断熱性に優れている材料だからです。

「KUTSUROGI(くつろぎ)」は、この杉の良さを活かしながら、耐摩耗性を向上させた床材です。だから、裸足で過ごすことが、とっても快適になります。



### 2 衝撃を吸収し、癒しとやすらぎを。

転倒した時、人には体重の約1.2倍の加重がかかるといわれています。杉は、材質が柔らかいため、この転倒時の衝撃を吸収することができます。

「KUTSUROGI(くつろぎ)」は、この杉が持つ衝撃吸収性を活かしている床材です。



### 3 家族とともに 美しく歳をとること。

「KUTSUROGI(くつろぎ)」には、日本古来の天然の耐水塗料である柿渋が塗装してあります。そのため、経年変化で少しずつ色が変わっていきますが、その姿は、一緒に歳を重ねていく家族のよう。日に日に愛着がましてゆきます。



### 4 無垢材をいろいろな場所に

杉は、材質が柔らかいため、表面硬さが要求される廊下や玄関などの床には適していませんでした。「TOUGH(タフ)」は、杉を圧縮加工することで、広葉樹硬木と同等の表面硬さを付与した床材です。「KUTSUROGI(くつろぎ)」では難しい、廊下、玄関、体育館などの高耐久用床材として使えます。